

『伊賀市史』第2巻 通史編 近世 目次

第一章 藤堂藩の成立と伊賀	第六章 人とモノの流れ
第一節 藤堂高虎の伊賀入封	第一節 街道と宿場
第二節 伊賀統治のはじまりと藤堂采女家	第二節 旅と巡礼
第三節 城和領支配	第三節 生業と生産
第二章 藩政の展開と家臣	第七章 寺社と人びとの信仰
第一節 藩政の動向	第一節 近世伊賀の宗教
第二節 家臣団と統治機構	第二節 寺院と社会
第三節 伊賀付家臣の生活	第三節 神社と祭祀
第三章 伊賀者と無足人	第八章 人びとの教養と文化
第一節 伊賀者	第一節 学びの世界
第二節 無足人と地域社会	第二節 俳諧と心学
第四章 藩政下の村と城下町	第三節 記録と出版
第一節 伊賀の村落	第四節 人びとの楽しみと文化
第二節 城下町上野	第九章 幕末維新の伊賀
第三節 被差別民の役割と暮らし	第一節 藤堂藩の政治動向と世相
第五章 地域をとりまく諸相	第二節 幕末の争乱と伊賀
第一節 自然の利用と山論・水論	第三節 天皇陵の修復事業と北浦定政
第二節 国境争論	第四節 藤堂藩の維新
第三節 安政伊賀地震	